



## 第1回 五ヶ丘の新しい学校を語るワークショップ

# これまでの五ヶ丘での検討状況と 今後の予定について

---

日時 令和8年3月7日（土）午後4時～6時

場所 益富交流館多目的ホール

五ヶ丘地区教育環境検討協議会

# 説明の内容

---

- 1 主催者あいさつ
- 2 これまでの検討経緯
- 3 ワークショップの目的
- 4 今後の予定

# 説明の内容

---

- 1 主催者あいさつ
- 2 これまでの検討経緯
- 3 ワークショップの目的
- 4 今後の予定

# 主催者あいさつ

---

五ヶ丘教育環境検討協議会 鈴木会長

# 説明の内容

---

- 1 主催者あいさつ
- 2 **これまでの検討経緯**
- 3 ワークショップの目的
- 4 今後の予定

# これまでの検討経緯

～令和5年度まで	・五ヶ丘各自治区長・大見自治区長からの要望書の提出をきっかけに、意見交換会等を実施
令和6年 6月～ 令和7年 1月	五ヶ丘地区教育環境検討協議会（4回） <b>&lt;令和6年度の協議会での主な意見&gt;</b> ・今だけでなく、将来を見据えて学校再編を考える必要がある ・規模の適正化だけでなく、再編を契機として新しい魅力ある五ヶ丘の学校にしていきたい ・協議会のメンバー以外の思いや不安を聞いて決めていきたい ・まち全体の活性化の視点で新しい学校や再編後の跡地の在り方を考えていきたい
令和7年 3月	住民向け説明会（いただいた意見等の概要は後述）
令和7年 8月～ 令和8年 3月	五ヶ丘地区教育環境検討協議会（4回） <b>&lt;令和7年度の検討状況&gt;</b> ・今後の進め方について決定（住民参加ワークショップ） ・ワークショップのテーマ等の決定、実施

## これまでの検討経緯（つづき）

令和7年3月住民説明会の概要（寄せられた御意見等）

参加者：61名 当日質疑：8名

ふりかえりアンケート回収数：56件 意見の総数：116件

主な分類と件数	御意見（抜粋）
進め方に関する御意見	46件 ・もっとスピード感を持って再編を進めて欲しい。新しい学校の内容などは、統合してから考えて良いと思う。 ・賛成・反対の意見を聞かずに進めることは疑問。再編ありきで進めているように感じる。具体的にどうなるのかがわからないため、今後また話を聞きたい。

○ワークショップを通じて皆さんの意見を踏まえた学校再編計画を市が策定し、令和8年度中に再編の方針を決定していきます。

○「かわら版」や市のホームページを通じて検討状況や今後の予定を情報共有していきます。

# これまでの検討経緯（つづき）

主な分類と件数	御意見（抜粋）
魅力ある学校づくりに関する御意見	44件 ・人数が増える事、クラス替えの機会がある事で、子どもたちに色々なきっかけを与えてあげたい。 ・統合しても2クラスにはならず、クラスの人数が増えて教員の負担が増えるのではないかと。子どもたちのメンタルケアや、トラブルなど不安がある。
再編に関する御意見	20件 ・自分の子どもだけでなく、10年後、20年後を考えてもらいたい。クラス編成や性別の偏りの問題などから、できれば統合した方が良いと思う。母校がなくなると感じる方も、2校ともなくなり、新しい学校になるという意識で検討してもらいたい。 ・今の現状（小規模校）を知っていて子育てのために五ヶ丘に住んでいる人がほとんどであり、統合しても1クラスになるなら統合の必要はないと思う。通学路が長く負担が大きくなると車で登校する人が増えて、保護者の負担も増えるのではないかと。
まちづくりに関する御意見	6件 ・子どもを増やす為、若い人が住みやすいまちづくりをしてほしい。 ・サッカー場の廃止理由を説明してほしい。利用している子どもたちにも説明してほしい。

## これまでの検討経緯（つづき）

---

- 学校再編によってより良い学校になる、魅力ある学校づくりにつながっていくという見通しを共有することが大切であり、保護者や地域の皆さんと検討していきます。
- 再編に向けては、教員負担や子どもたちへの支援に留意します。
- 学校は児童の教育のための施設でありながら、地域社会の中核的な場でもあります。学校再編を契機に、ワークショップでは、地域との新しい絆や、新たなコミュニティの枠組みをつくる視点も持ち、検討を進めていきます。

# 説明の内容

---

- 1 主催者あいさつ
- 2 これまでの検討経緯
- 3 ワークショップの目的**
- 4 今後の予定

# ワークショップの目的

---

- 住民主体の話し合いにより「不安や疑問の解消」と「より良い学校のイメージの共有」を図り、学校再編に対する納得感を高める。
- 児童数の減少を踏まえて、「学校と子ども」を中心に教育環境について議論し、市が「学校再編の方向性」の検討に活用する。  
(学校再編計画案に活用していく)

# ワークショップの全体スケジュール

本日

テーマ・開催日時	内容
①両小学校の長所・特徴・違い 3月7日（土） 16:00～18:00	・両小学校の引き継ぐべき伝統や良い取組を再発見しましょう。
②小規模化（少人数）の影響 ～人数が多いとできること～ 5月10日（日） 10:00～12:00	・将来の児童数の予測も参考にしながら、学校の様子がどうなっていくのか考えてみましょう。
③学校再編への不安、心配 6月14日（日） 10:00～12:00	・不安や心配事を話し合い、どう学校再編すべきかまとめましょう。
④子どもたちが「行きたい」「学びたい」学校①～子ども目線でどんな活動・学び・遊びがしたい？～ 7月19日（日） 10:00～12:00	・新しい学校でいきいき活動するイメージを膨らませましょう。 ・新しい学校で子どもたちと地域の大人が関わり合っていくためのタネ（きっかけ）を植えましょう。
⑤子どもたちが「行きたい」「学びたい」学校②～大人目線でどんな風に活動・学び・遊びを支えたい？～ 8月16日（日） 10:00～12:00	
⑥学校と地域のつながり 9月13日（日） 10:00～12:00	

# 説明の内容

---

- 1 主催者あいさつ
- 2 これまでの検討経緯
- 3 ワークショップの目的
- 4 今後の予定**

# 令和8年度の予定

5月～9月	10月～12月	1月～3月	3月末
ワークショップの実施 (第2～6回)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップのまとめ</li> <li>・市による学校再編(案)の提示</li> </ul>	学校再編(案)への意見募集	市による方針決定



この期間に、意見交換の進捗や内容を踏まえて、**市が学校再編計画(案)を作成**します

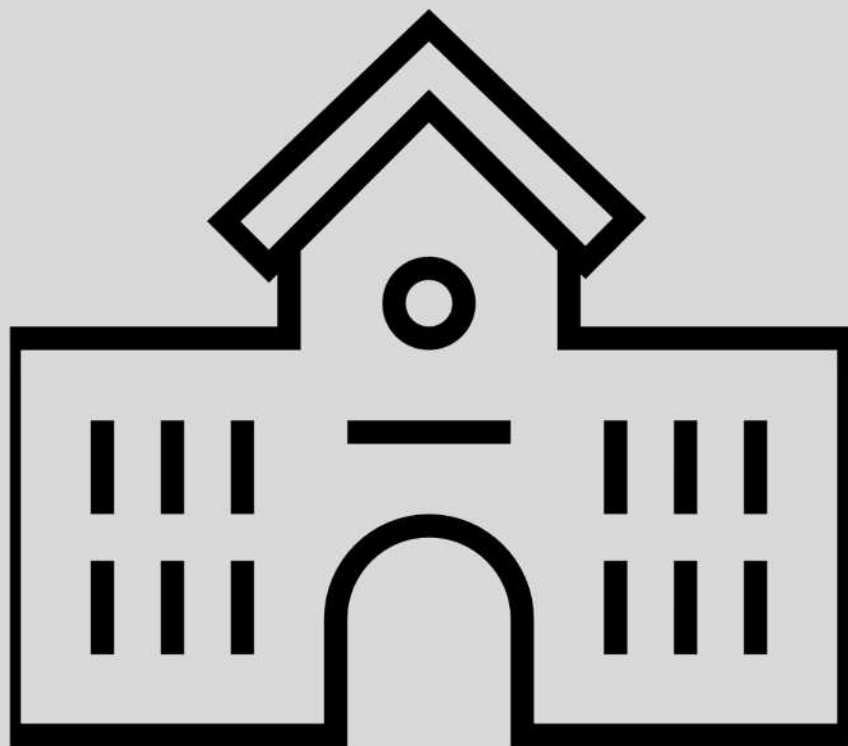
作成した学校再編計画(案)について、**説明会等により周知**を図ります

いただいた意見を踏まえ、**学校再編計画を修正し、決定**します

# グループワーク

---

## 両小学校の長所・特徴・違い



# ありがとうございました

---

豊田市ホームページに  
豊田市の学校再編の取組や  
五ヶ丘地区学校再編検討協議会について  
掲載しています。

<豊田市ホームページ>

くらしの情報 ⇒ 学校・教育 ⇒ 少子化等  
に対応したより良い教育環境の実現に向け  
た取組

# 資料編

---

## 豊田市の教育のめざす姿

# 子どもたちが生きるこれからの社会

## 社会環境

少子高齢化 グローバル化  
A I 技術の進展 DXの進展



予測困難な時代の到来

## 学校環境

いじめ・不登校 児童虐待  
ヤングケアラー 障がい

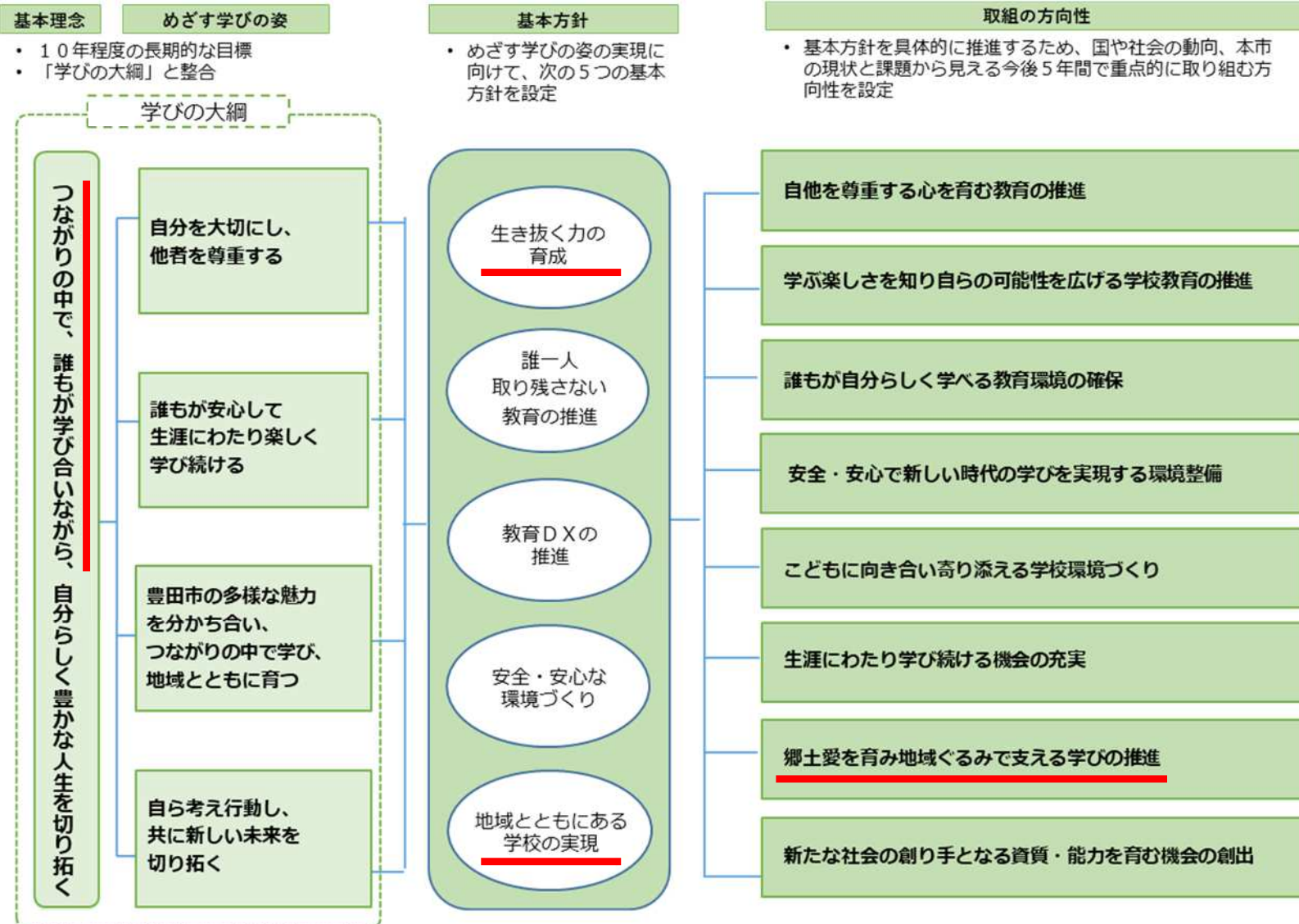


子どもの抱える困難の多様化

▶ 子どもたちはこれから

**すぐに答えの出ない課題に直面していく**

# 育みたい子どもたちの姿



# 地域と子どもたちのつながりが大切

## 学びの大綱の基本理念

**つながりの中で、誰もが学び合いながら、自分らしく豊かな人生を切り拓く**

- 子どもたちが、将来に夢と希望を持ち、生き生きと学び続けるためには、**多様な人や地域とのつながりの中で、様々な体験や学びを通じて、学ぶ楽しさを知ることが大切**です。
- 子どもたちのかけがえのない命と心を守るため、市民一人ひとりが、**自他の命と人権を尊重し、家庭・学校・地域等において、多様な個性や立場の違いを認め合いながら、誰もが安心して学び、育つことができる**環境の実現を目指します。
- そして、**誰もが生涯にわたり学び合うことで、幸せを感じ、自分らしく豊かな人生を切り拓くことができるよう、自ら学び続ける市民の活動を支援**します。

# 新しい魅力ある五ヶ丘の学校 **イメージ**

## 学校以外の機能との複合化や連携

○地域と学校両方が元気になる、「地域とともにある学校づくり」を進める

### 地域コミュニティ拠点の場合



#### <他市事例>

鳥取県八頭町 コミュニティ複合施設「隼Lab.」(文部科学省HP事例より)

1階：カフェやショップ、看護協会、地域福祉組織等が入居し、地域住民に開かれたコミュニティ空間を整備

2・3階：コワーキングスペースやシェアオフィス等、サテライトオフィスを意識したビジネス空間を設計・整備

# 新しい魅力ある五ヶ丘の学校 **イメージ**

## 学校以外の機能との複合化や連携

○地域と学校両方が元気になる、「地域とともにある学校づくり」を進める

### 独自のアフタースクールの場合

- ・学習支援（予習・復習、補充学習・ICTを活用した学習活動など）
- ・体験プログラム（実験・工作教室、英会話、文化・芸術教室、地域探検、農業体験など）
- ・スポーツ活動（野球、サッカー、バドミントン、卓球、一輪車など）



※文部科学省資料より

# つながり、学ぶ取組の例

## 豊田市の「特色ある学校づくり推進事業」

豊かな自然に恵まれた地域、伝統産業や伝統芸能が残っている地域、福祉施設が存在する地域、歴史的遺産が多く残る地域、農業や工業が盛んな地域等、学校が存在する地域の独自の特色があり、**地域の協力を得ながら、その特色を生かした教育活動を推進**する取組。

各学校で取り組まれている事例

- ホテルの生育環境や成長などについて地域から学び、継続して育てる
  - 地元農家さんの指導による田植え・米作り
  - 地域の伝統芸能（和太鼓、棒の手、歌舞伎など）の体験や指導、発表会
- ※教育課程の中の「総合的な学習の時間」として実施されている場合も多い



▶ **子ども：地域への関心・愛着**

**地域：子どもとともに学ぶ機会、子どもを地域で育てる意識**

などにつながっています 23